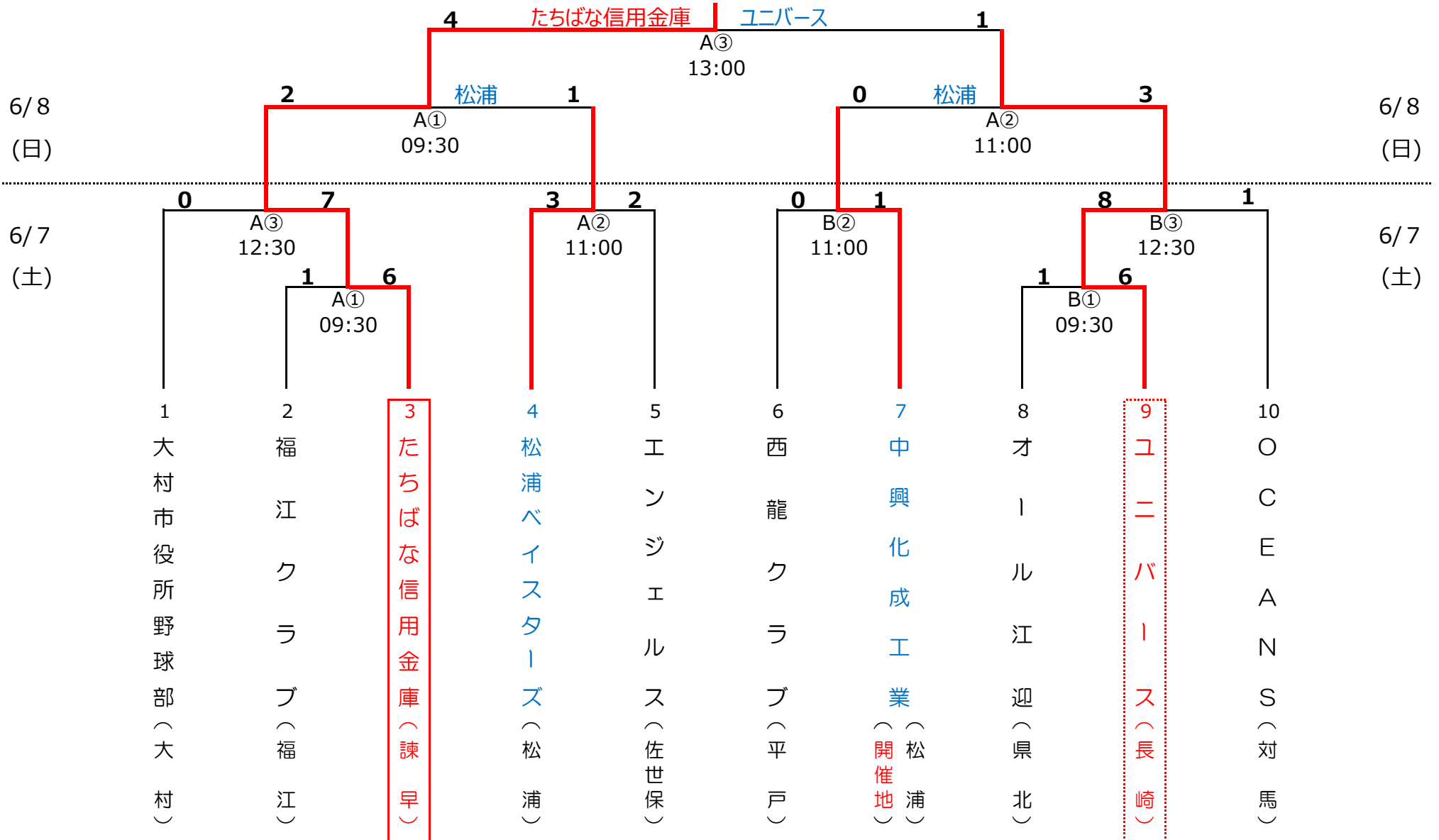


高松宮賜杯 第69回全日本軟式野球大会(1部) 長崎県大会

会期：令和7年6月7日(土)、8日(日)

会場：A：青のまち松浦スタジアム B：平戸市赤坂野球場

優勝チームは、九州大会を経ずに全国大会(9/20~東京都)の出場権を得る



開始 09:29 終了 11:03 所要 1 時間 33 分

【一回戦】 A①	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
福江クラブ	0	0	0	0	0	0	1			1
たちばな信用金庫	0	1	3	0	2	0	X			6

(審判)廣川聖、久保川諒、山崎智、廣川真

開始 09:26 終了 11:58 所要 1 時間 32 分

【二回戦】 B①	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
ユニバーズ	0	1	3	2	0	0	0			6
オール江迎	0	0	0	0	1	0	0			1

(審判)正木、田中、永田、前川

開始 13:45 終了 15:03 所要 1 時間 17 分

【二回戦】 A③	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
たちばな信用金庫	0	3	2	0	2					7
大村市役所野球部	0	0	0	0	0					0

(審判)長谷川、井戸、田中、平田

5回コールドゲーム

開始 11:16 終了 12:35 所要 1 時間 19 分

【二回戦】 B②	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
中興化成工業	0	0	1	0	0	0	0			1
西龍クラブ	0	0	0	0	0	0	0			0

(審判)東川、前川、西村、永田

開始 11:23 終了 13:30 所要 2 時間 7 分

【二回戦】 A②	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
エンジェルス	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
松浦ベイスターズ	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1x	3

(審判)田中、井戸、篠崎、山崎智

延長 8 回からタイブレーク

開始 13:00 終了 14:43 所要 1 時間 43 分

【二回戦】 B③	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
ユニバーズ	0	0	0	3	0	5				8
OCEANS	0	0	0	0	0	1				1

(審判)田中、東川、正木、西村

6回コールドゲーム

開始 09:25 終了 11:08 所要 1 時間 43 分

【準決勝】①	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
松浦ベイスターズ	0	0	0	1	0	0	0			1
たちばな信用金庫	0	0	0	2	0	0	X			2

(審判)川浪、平田、中島匠、金福

開始 11:24 終了 12:50 所要 1 時間 25 分

【準決勝】②	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
ユニバーズ	0	0	0	0	3	0	0			3
中興化成工業	0	0	0	0	0	0	0			0

(審判)田中、井戸、山崎智、辻田

開始 13:21 終了 15:08 所要 1 時間 46 分

(審判)長谷川、井戸、平田、山崎智

【決勝】	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
たちばな信用金庫	0	2	0	0	2	0	0			4
ユニバース	0	0	0	0	1	0	0			1

両チームの合意により7回戦ゲーム

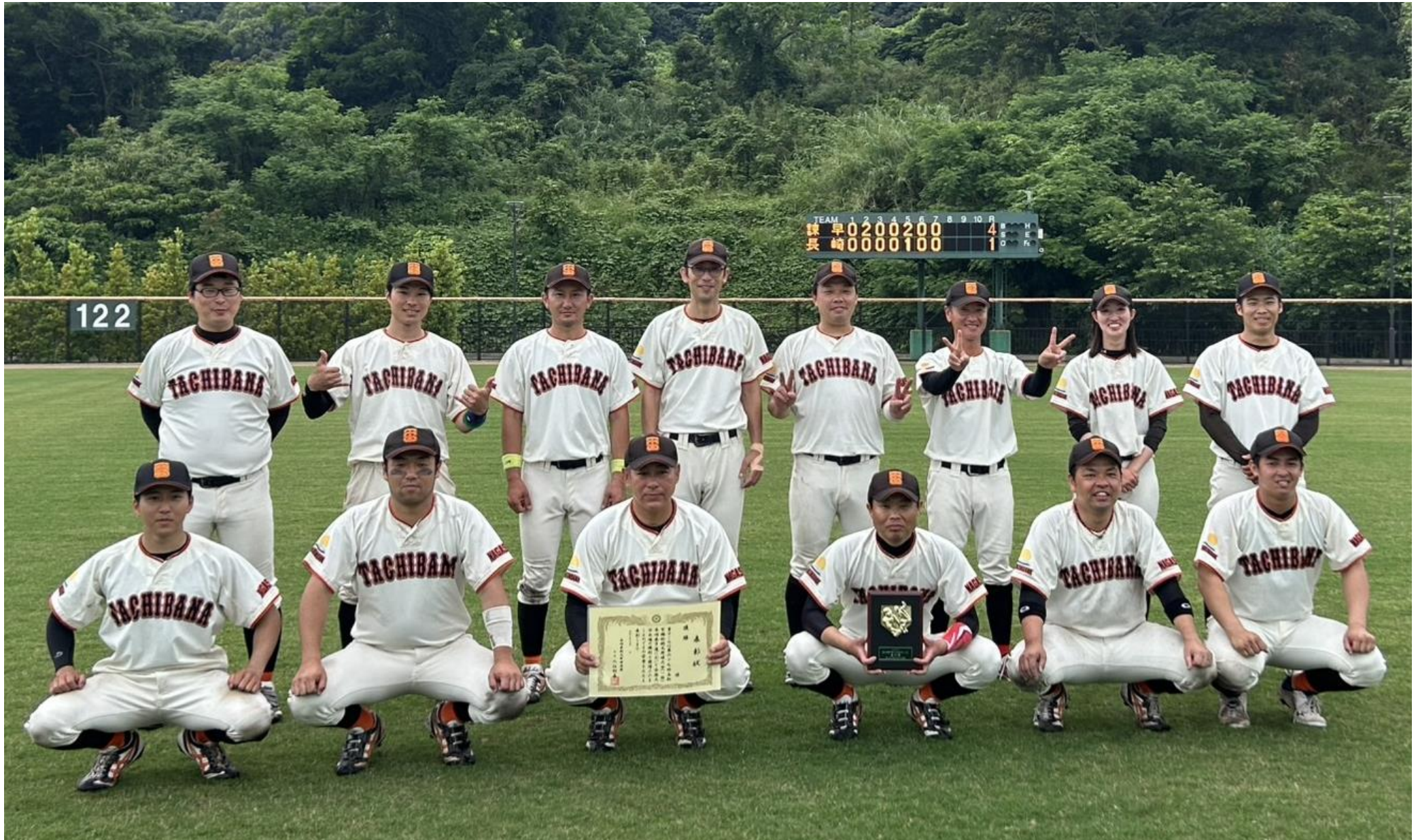
先攻【たちばな信用金庫】	1	2	3	4	5	6	7
1 ② 坂本 勇次 23	左安	...	B	...	右中安	K	...
2 ⑧ 石場 圭 30	B	...	右安	...	K	...	6-3E
3 ⑥ 谷川 葵依 24	5C-3	...	8F	...	左安	...	1-4B
4 DH 松崎 正享 32	K	...	1F	...	6-2D	...	3-4B
5 ④ 川原 佑葵 38	...	5E-3	6-3	...	B	...	K
6 ⑨ 古川太一郎 22	...	遊内安	...	1-3	B
7 ⑤ 早田 侑樹 39	...	2-3	...	5-3	5C
8 ⑦ 道副 佑紀 43	...		...	5-3	...	2FF	...
9 ③ 磯口 孝 37	...	3F	HP	5L	...
P 中川 祐輔 23							

- 1回) 坂本が先頭安打し石場の3球目に二盗。石場四球の一二塁に谷川の三ゴロが5C-3の併殺で先制機を逸す。
- 2回) 敵失出塁の川原と遊内野安打の古川が早田の捕犠打で進塁後、道副への初球が捕逸となり三走が生還。二走は三進。道副が3球目を左飛。これが犠飛となり2点を先取。
- 3回) 先頭四球と石場が右安打の一二塁に谷川の中飛で二走の坂本はタッチアップで三進。
- 4回) [投手交代→田浦]
- 5回) 先頭死球、坂本の右中間打、谷川が左安打の一死満塁に松崎の遊ゴロ本封。川原と古川が連続の四球押し出しで2点を追加。

後攻【ユニバース】	1	2	3	4	5	6	7
1 ⑨ 森 光洋 26	右安	...	K	3A	8F
2 ⑦ 堀内 幸宏 30	2F	8F	...	B	...
3 ② 築瀬 翔 25	4F	9F	...	K	...
4 ③ 大杉遼太郎 26	K	8F	...	6-3E	...
5 ⑧1 田浦 潤 34	...	左二	右安	3F	...
6 ⑥ 毎熊 洸星 23	...	6FF	K	...	一内安
7 ①4 大野 祐馬 29	...	B	3A	...	右安
8 ⑤ 肥後橋 諒 37	2F
8 塚本 瞭人 32	中安	...	K
9 ④5 野口 大翔 25	5-3	...	K	...	K

- 1回) 先頭安打の森が二死後に二盗。
- 2回) 先頭の田浦が左二塁打。中継の悪送球で三進。一死後に捕手からの三塁牽制球死。大野が四球出塁も二盗死。
- 5回) 先頭安打の田浦が一ゴロ二進の二死二塁に塚本が中適時打。
- 6回) 一死後に四球の堀内が二死後に敵失で三進し一三塁は一飛で無得点。
- 7回) 毎熊、大野が連安打の無死一二塁も後続が三者凡退。

たちばな信用金庫は平成30年の第62回大会以来、7年ぶりの高松宮賜杯1部長崎県大会の優勝。
本年の九州大会は長崎県開催のため、九州大会を経ずに全国大会(9/20～東京都)に出場する。



準優勝の『ユニバース』

